

第2回理事予定者会議 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所

2020年度 第2回理事予定者会議議事録

日時：2019年 9月 13日（金）19：00～

場所：グリーンヒルホテル尾道

（出席者）

加度 亮平、山北 真也、川崎 耕平、中谷 純也、今岡 正英、政成 啓行、大西 貴明、
岡本 大輔、池田 知和、沼田 剛志、岡田 貴臣、小川 直紀、大本 誠、高橋 洋樹、
大前 慶倫、高山 敦好、小林 暢玄、山本 圭介、岡田 健吾、高橋 建太、中司 昌克、
藤田 祐輔、吉田 嵩正、大池 慎三

（欠席）

なし

（遅刻）

なし

（早退）

なし

1. 開会
2. 点鐘
3. JCI クリード唱和 高橋 洋樹
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 高山 敦好
5. J C 宣言文朗読並びに綱領唱和 山本 圭介
6. 出席者の確認 : 藤田祐輔理事・セクレタリー予定者より
理事予定者 20名 直前理事長予定者 1名 監事予定者 2名
セクレタリー予定者 1名
7. 配布資料の確認 : 高橋専務理事予定者より
第2回理事予定者会議資料 1部
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名 : 加度理事長予定者より
議事録署名人 : 川崎監事 中谷監事
議事録作成 : 事務局

9. 議題の確認 : 高橋専務理事予定者より

(審議事項)

第1号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 委員会構成図(案)に関する件

第2号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 所管業務(案)に関する件

第3号議案 2020年度 出向者に関する件

第4号議案 その他

(協議事項)

第1号議案 その他

10. 理事長予定者挨拶

(加度 亮平)

皆さんお疲れ様です。本日もお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。前回の理事会同様、今回の議案数も少ないですが、委員会メンバーと所管業務の日程を議論する会です。長時間にならないとは思いますが、重要な会だということを認識していただき、会にのぞんでいただければと思います。今、委員長予定者の皆さんは必死に情報収集や事業の大枠を考えているのだと思います。よく委員長経験者のメンバーや副理事長、副委員長と話をすると、「年内に事業の大枠を決めておいた方がいい」と言われると思います。これは正にその通りです。来月には予算のことも議題になってくると思いますので、自分の事業を構築するためには予算は大事ですし、その予算とるためにはある程度何するかが見えていないと例年通りになります。だから年内にはしっかりとしたビジョンが見えていないといけないのですが、これが一人では結構大変だと思います。だから、副委員長、副理事長とたくさん話してみてください。口に出して事業のことを話していると自分の中への落とし込みが出来ると思います。今はとにかく色々相談してみてください。副理事長には、正副の場などで考えを伝えておりますので、委員長の皆さんは副委員長と副理事長にドンドン相談してみてください。まずは考えるより、動くことです。皆さんなら必ずいい事業がつくれ、実りある青年会議所活動が出来ると思っておりますのでどうぞよろしくお願いします。それでは本日の理事会が有意義な会になる事を祈念して、冒頭の理事長予定者挨拶に変えさせていただきます。

11. 直前理事長予定者挨拶

(山北 真也)

皆さんこんばんは。前回の理事会で委員会が決まり、所管がある程度決まってこの一週間くらいでいろいろと委員長・副委員長のみなさん考えられていると思います。この時期が一番大事だということはわかっていると思いますが、この時期だからこそ私なりに少しアドバイスしてみます。よく言われますが、それぞれの所管がある程度見えている段階で過去の資料は絶対に見てください。過去に先輩方が作り上げてきたものがどういったもので、それも事業計画だけでなく報告も上程もしっかり見て欲しい

と思っています。どういうことがあって、どういう結果が出て、それが良かったのか悪かったのかというところをまず見ていただきたい。その上でご自身がやろうと思っていることや考えられていることがあると思いますが、もしそれが決まっているのならいいです。ですが、もし迷っているのであれば今は簡単に検索できる時代になっているので枠を越えて他のロムの事業や他団体の事業を見て、言い方が悪いですけどまねをしてもいいと思います。まねをするのはいいですが、それに対して尾道である意味を持たせるとか自分自身が意味を持たせていいようにしていくのであれば、たとえ元がまねをしたものだとしても私はかまわないと思います。それがいい事業になればと思っていますのでこれから四ヶ月の間いろんな情報を収集してもらって来年のスタートの時にいいスタートが切れるよう、とにかく今は必死に情報収集してもらいたいと思っています。そして来年スタートする頃には方針を決め、委員会をやるにも今日の委員会はこういうことをやるよっていうスムーズな進行の上でやって頂きたいです。ぐだぐだしているとせっかく委員会メンバーが集まって意見を出し合う時間を作っても建設的な意見は生まれないので、そういう計画をすることも大事な仕事ですのでしっかり頑張って頂きたいなという激励の言葉を直前理事長の挨拶に代えさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願い致します。

12. 理事長予定者報告

資料にて確認

13. 審議事項

第1号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 委員会構成図（案）に関する件

第2号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 所管業務（案）に関する件

第3号議案 2020年度 出向者に関する件

第4号議案 その他

（加 度） 審議事項に入る前に副理事長と専務に所信の説明をして頂きたいと思います。

（今 岡） 2020年度、人が育む経済活性化室の副理事長を務めさせていただきます今岡正英と申します。一年四ヶ月どうぞよろしくお願い致します。私の所信のテーマですが、「生かし合う」というテーマにしました。所信の内容につきましてはご一読ください。中身のところをざっくりと申し上げますと二つ内容を記載しております。一つは全体した事業に例えますと、一つの事業をやっていく上でこれやろうとパッと決めてスッとやるということはこれまでもありましたし、これからのあると思います。そうすると中身のいいものはなかなか出来にくいと感じています。いいものを作ろうと思うとしっかりと準備をして予定を立てて事業に向けて着実に作っていくということが必要だと思って内容に記載しました。それともう一つ、加度理事長が「しあわせ」という言葉を使っていました。しあわせについて自分で考えたときに、まずは自分の私利私欲

をなくして人のために何かをすることによって誰かを幸せにするということがまちづくりにも繋がってくるのかなと思いました。ですのでまずは自己犠牲にして事業作りをしていく、そうすれば自ずとそれが自分にも返ってくると考えています。これがまさに「生かし合い」になるのではないかと私は考えています。ですのでこういったテーマにしております。最後の四行に書いていますが、良いと思える事業は一步一步着実に進めていってお互いを生かし合うという状況になって実施していくべきだと考えております。来年副理事長という職を預かりましたが事業をこういうテーマを持って進めていければと考えております。どうぞよろしくお願い致します。以上です。

(政 成) 失礼いたします。次年度副理事長予定者の政成でございます。一年四ヶ月間よろしくお願い致します。副理事長所信ですけれどもテーマを「真摯に、誠実に」とさせて頂きました。なんで真摯さと誠実さが大事なのかということですが、内容についてご一読頂きたいと思います。テーマですけどもＪＣ活動においても会社においても家庭においても必ず自分ひとりじゃなくて絶対に誰かがいる訳です。なので自分以外の誰かに対する態度をそういった真摯さ・誠実さを持って接して欲しいと考えております。特に社会開発委員会は町に出ることが非常に多くなります。外部の人と接点を持つことは非常に大変なことなので特に当室においてはそういった姿勢を持って遂行して頂きたいと思います。最後になりますが最後の三行にこういうふうに進めていきますということを書かせて頂いております。なので精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

(大 西) 失礼致します。２０２０年度夢見る大切さ推進室の副理事長大西と申します。一年四ヶ月よろしくお願い致します。所信ですが「Future & Past」ということで、受け持たせて頂きます二委員会に思いもこめて書かせて頂きましたし、全体の方に向けても書かせて頂きました。やはり過去の膨大な資料とか事業のアーカイブ等を見られていると思います。特に私が受け持たせて頂きます二委員会というのはそういった過去を越えていかなければならないような委員会だと思っております。いろいろな事業だったりとか一步踏み出す時になかなか勇気がでなかったりして踏み出しにくいこともあると思いますが、その一步というものを特に委員長の皆様は勇気を持って踏み出すと違った景色も見えてくるのかなと思います。立場は違いますが気持ちとは皆さんと一緒に一年四ヶ月歩んで行きたいなと思います。夢への一步を踏み出していければと思います。一年四ヶ月どうぞよろしくお願い致します。

(高橋建) 失礼致します。２０２０年度専務理事を仰せつかりました高橋建太と申します。所信のテーマは「継続は力なり」とさせて頂きました。近年のＪＣの出席率低下が顕著に現れていると思いますが、例会の出席率低下は当たり前ですが委員会にも行けないのにいきなり例会に行くぞってなるメンバーはあんまりいないと思います。なのでまず委員会の出席率を高めていまいしょうということを書かせてもらっています。なるべくここにいる理事の皆様にはチャレンジをして頂きたいなというふうに

第2回理事予定者会議 議事録

考えてそういったことも書かせて頂いております。一年四ヶ月、会の運営が内部的にも外部的にやりとりがたくさんあるかと思いますがスムーズに進行できるように事務局全員でめいっぱい挑戦していきたいと思いますので一年四ヶ月どうぞよろしくお願い致します。以上です。

(加 度) それでは審議事項に入ります。

第1号議案 一般社団法人尾道青年会議所 2020年度委員会構成図(案)に関する件ですが、資料の2-1に記載しておりますので、ご確認下さい。

※第1号議案 賛成多数で審議可決

第2号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 所管業務(案)に関する件に関する件ですがご意見ご質問等よろしくお願い致します。

(高橋洋) 会員拡大委員会について質問をさせて頂きたいと思います。例会行事が2点ございます。前半と後半にわかれると思うんですけど、前半の例会事業は拡大活動そして仮入会に対して考えた例会を設えるのかなというふうに考えております。後半の例会事業なんですけれども拡大活動・仮入会員に対してと考えるのは当然なんですけれども枠組みを越えた例会行事を考えてもよろしいのでしょうか。

(加 度) 3月に関しましては本年度の小林委員長が仮入会員に対してやるのなら効果的だと言われているのでそのようにして頂いてもいいと思います。11月の例会に関しましては枠を越えて頂くことも全然問題ないと思いますし、拡大の検証という形でもいいと思います。会のためになるのであればどちらの選択を取っていただいても構いません。

(岡 本) 所管業務の中にしまなみ3JCへの参画と書いてありますが、具体的には何月というのは決まっているのでしょうか。

(加 度) 今の段階では何月か決まっておりませんし、どういった内容かもわかっておりません。ある場合は参画して頂くように考えております。

(沼 田) 豊かな人材育成事業の調査・研究に関することなんですけれども前回の理事会で現役世代を対象にするようにとお話を頂きました。同室の真の幸せを知る経営者育成委員会と内容が被ってくるのではないかと感じました。ここの住み分けをどのように考えればいいのかお聞かせ頂けたらと思います。

(加 度) まず真の幸せを知る経営者育成委員会に関しましてはメンバーを含め、全経営者を対象としたいです。もっと言いますと心の部分に関する事業にしたいと考えております。豊かな人材育成委員会に関しましては尾道青年会議所に所属する経済人を対象とした住み分けで考えております。

(小 川) 新年宴会について一点質問します。例年の資料や傾向を確認していく中で委員会紹介や役員紹介で間延び感があるのではないかと思います。本年度原田委員長がそこ

をシンプルにしてOBとの交流に使っていく手法でした。その点に関して理事長のご意見や要望がありましたらお聞かせください。

(加 度) もし紹介が間延びをするのであればしないような設えを作って頂きたい。OBとの交流を大切にするのであればそのように作って頂きたい。どちらがいいかは会の設えによりますが、ただ間延びをするからやめようという考え方はやめて頂きたい。それをうまくするのが小川さんの役目だと思っています。

(岡 本) 先ほどの沼田委員長の質問の中で全経営者を対象とするとお答えをされていましたが、全経営者というのはメンバーのことですか。それとも、対外を含めて尾道の全経営者が対象ということですか。

(加 度) 尾道全体を含めた経営者です。

(高 山) 質問が二点ほどあります。夢見る大切さ促進事業の研究・実践が所管にあって、所信の方に誰かと見る夢とあるんですが、この誰かとは対象はどの辺になるのか教えて頂きたいです。

(加 度) 自分以外です。対象は尾道青年会議所とか一人で見るとかではなくて誰かというように考えております。内容は委員会の方で精査して頂ければと思います。

(高 山) 夢・希望・憧れという委員会名なんですが、希望と憧れが所管業務の中に記載されておらず、加度理事長は希望と憧れに関してどういうお考えをされていますか。

(加 度) まず、夢・希望・憧れというのはどれか欠けてもだめだと思います。所信で言うと冒頭の夢から始まり幸せに終わるといような感じで連動していつてるものです。夢を見て希望を持って、それが周りの人から憧れを得られるような、どれかが欠けてもいけないという認識でおります。

(高 山) 憧れについてイメージがつききりません。例えばカッコいいとかどういったものが対象になるのでしょうか。

(加 度) 人からこう見られたいとか自分だったらこう見て欲しいとか、他から見た目と高山委員長にも自分があこがれる人はいるでしょうがそういった人がいないと幸せにはなれないと思います。

(沼 田) 家族会についてご質問させていただきます。人が育む経済活性化室なんですが家族への感謝を主にすればよろしいのでしょうか。

(加 度) 家族への感謝がないとビジネスもうまくいかないと思いますので、そういった意味での家族会にして頂ければと思います。

(山 本) 例年ですと総務広報委員会は拡大委員会と同室になると思うんですが、今回、夢見る大切さ推進室なのは何か一緒にすることがあるのでしょうか。

(加 度) 社会開発と拡大は対外的な要素が多いので同室にまとめました。夢見る大切さ推進室としたのは総務が大変重要な役割で、広報も重要な所なのでそういったところを広げていくのと2020年の指針を策定するにあたって尾道青年会議所はこういうところなんだということを発信していければと思っています。なので例年とは変

則的な室にしております。

(岡 田) 質問が二点あります。同室に関係する質問なのですが、真のしあわせを知る経営者育成委員会の指標として尾道の経営者全体をカテゴライズしていただきましたが、僕のようなサラリーマンや新宅さんのような公務員を含めた事業展開やマーケティングはどうされるのでしょうか。経営には関われないので立ち振る舞いとしてはどうすればいいのか見えておりません。もう一点が、豊かな人材育成委員会は尾道JC内のメンバーの人材育成に関する会員資質の向上に向けた対内・対外事業といった考え方でよろしいのでしょうか。

(加 度) まず経営者じゃない人も経営者感覚をもっていかないとやっていけないと思います。経営者感覚がなければむやみやたらな営業で会社がだめになるということもあると思いますので、経営者じゃないからとか公務員だからとかは考えておりませんし、そういった方々にも経営者感覚を持っていただく必要があると考えております。もう一点が対象をメンバーとしましたのでそれを対内にするのか対外にするのかはお任せいたします。

(大 本) 所管業務についてご質問がございます。今回かなりビジネスに特化している印象があるんですが、昨年度寺子屋とか教育の事業をすごくされてたんですが今回そういった教育の事業がないことにつきましてご説明頂ければと思います。

(加 度) 教育に関しましてひとつの考え方としましては、社会開発委員会には防災の教育をして頂きたい。教育を所管業務にいれてないのはどこが教育をしてもいいという発想になっております。

(大 本) 真のしあわせを知る経営者育成委員会だったり、豊かな人材育成委員会だったりというのはどういった教育をしていけばいいのでしょうか。

(加 度) どういった事業をやりなさいとはいいいません。考え方によって子どもを対象にするなら、例えばマネジメントゲームをやらせてもいいと思いますし、必要とあれば各委員会で話し合って頂ければと思います。

(大 本) 後一点なんですけれども、社旗開発委員会に新年宴会があるんですが前回の理事予定者会議で理事長が言われてたギレン・ザビという言葉に私たちは悩んでおります。どうしても所信の「素にして上質」とギレン・ザビが一致なくてどういったことでそのようにおっしゃられたのか教えて頂きたいです。

(加 度) イメージは何かという質問だとギレン・ザビを思い浮かべるんですが「素にして上質」とどう繋がるかと言いますと、あれだけ国と将軍のことを想いながらやった行動が基本的な部分であり、それをあれだけ想いをこめて語れたというのをイメージして頂ければと思います。僕としても青年会議所に対する想いを持って力強くやりたいというイメージを持って頂ければと思います。

(大 本) 加度理事長の想いや演説の内容がすごく重要になってくるので、リハーサル等を数多くさせて頂くと思いますのでよろしくお願い致します。

第2回理事予定者会議 議事録

- (加 度) はい。私も一生懸命やります。
- (池 田) 前回の理事会の時に岡本委員長が真のしあわせの真の部分に関する質問をさせて頂いた時に向上し成長し続けることだと仰っておりました。今日聞いた中で尾道の経営者の方に向けて心が成長し続けるような事業をしていけばよろしいのでしょうか。
- (加 度) 仰るとおりです。
- (岡 本) 僕が考える経営者の一番大切なものは生き方とか考え方だと思うんです。人間がどういう心を持っているかというところに繋がっていくとは思いますが。それを中心に事業をやっていきたいと思いますが、同室の豊かな人材育成委員会の方が対象はメンバーということでメンバーは経営者であり青年経済人であるんですけども経営者・青年経済人というところで生き方もしくは考え方、後はビジネススキルで三本くらいになりますが同室で被ってくるような例会内容や事業内容になってくるのは問題ありませんか。
- (加 度) 私の中ではおそらく被らないのではないかと認識でいます。先ほど岡本委員長の言われていた生き方とかビジネスのスキルであるとかという話をするのは構いませんが、どういった内容かによって判断させて頂きたいと思います。そこが議案にあがってくる段階では遅いと思いますので、副理事長なり事前の情報を共有できれば方向修正なりしていきますので今の段階では判断するのは難しいです。
- (岡 本) 先ほど被らないだろうと仰られていたのですが、その根拠と各委員会の方向性が加度理事長の中にあると思うんです。その通りにできるかはわからないんですけど、その心にある方向性を大まかでいいので教えてください。
- (加 度) 所信の「我々青年経済人が～」というところの二段落目に豊かな人材育成委員会のことを書いています。どういったことかという働き方改革の話が出てくるんですが、端的にとりざたされているのが休日を増やしましょうとか残業を減らしましょうとかただ単に勤務時間を減らしましょうというのではなく、働きやすい環境というのは人間関係であったり尊敬できる上司がいたりとか大きいとこだと思っています。なので実際に働き方を変えるとか人付き合いを変えるのが豊かな人材育成委員会の所管業務です。もちろん真のしあわせを知る経営者育成委員会に入るものもあり大前提であると思っております。人間関係を良くしようとかビジネスのスキルをあげようというのは当然経営者には必要なスキルだと思いますのでそこだけにフューチャーすると被ってくるとは思いますが、もっと広い所で真のしあわせを知る経営者育成委員会にはやって欲しいと思っております。
- (高 山) 2020年代活動指針についておうかがいしたいのですが、2010年の時はその年代に絡めながらいろいろ考えて、その当時湯崎さんと呼んで話しをしているようです。今後どうしていくか考えているんですが私がSDG'sをやっている関係である程度JCはSDG'sをやっているという認識が県庁や他団体でも広がりを見せている

状態です。前回尾道青年会議所としては大きく取り上げないという話がありましたが、今年の京都会議でやっていくという宣言がなされた状態の中で、加度理事長はやっているというのか言わないのかお聞かせ頂ければ例会行司にも絡めていけるのではないのかと考えております。

(加 度) まず前回の質疑の中で誤解を招いたかと思うのですが、SDG'sを取り入れないという考え方ではなくて、上程資料にそれを取り入れた議案文に変えないと言ったつもりでした。考え方は取り入れるべきだと思いますし、日本青年会議所だけでなく他団体でも積極的に取り入れていってますので問題ないと思っております。

(高 山) 尾道青年会議所ではまだまだ勉強も必要なのかなと思いますが、私の努力不足もあるのかと思います。対外的に尾道青年会議所はやってますという調整が必要なのかと思いますが、それを言ってもいいのか。そういったところはどのようにお考えでしょうか。

(加 度) 日本青年会議所がやるという話なので僕らは賛同しないといけないと思いますし、どこまでやったらやってるかという定義づけは難しいと思いますが、やってるという宣言は本体がしてる以上やるべきだと思います。

(大 本) 社会開発委員会の新年宴会とみなと祭りと事業が連続して続くんですが、みなと祭りの調整や構成に関して何かあればお願いします。

(加 度) 具体的には言えませんが尾道青年会議所として出る以上はそれなりの看板や知名度であげていかないといけませんし、こういう団体がいるんだということを大事にして欲しいです。合わせてみなと祭りでやる以上、何を求められているのかをしっかりと考えてみて欲しいと思います。なので集客にはこだわりますが集客も大事だと思います。どんないい事業をしても人がこなかったら仕方ないですし、市のお金を使うのであればそれに恥じない事業にして頂きたいです。なので動員だけにこだわるんじゃなく、青年会議所だからできたものを作って欲しいと思います。

(大 本) 前回の理事会で聞いておけば良かったんですが、「素にして上質」という会社の経営理念をそのまま青年会議所に落としてきた理由をお聞かせ頂ければと思います。

(加 度) 私の一番大切にしている考え方だからです。なのでベストを考えたときにたまたま会社と一緒にでした。

(小 林) 2020年代活動指針の策定のところでご質問をさせていただきます。所信の方に反省のないものには成長がないとの文言がございます。2010年代の活動指針が策定されておりましたがメンバーの方で共有できていなかったのが加度理事長の反省なのかと私どもは受け取っておりました。反省はそれぞれあるとは思いますが、それを共有する場を設けるべきか設けなくていいのかいかがでしょうか。

(加 度) 必要かどうかは内容によりますし、必要ならばやって頂きたいです。基本的な考え方としては検証がとても大事だと思っておりますので、そういった意味合いで会のメンバーに伝えるのは非常にいいことだと思います。その手法を合同委員会でやる

のか事業としてやるのかはお任せ致します。

(小 林) 検証という形ということであれば、夢・希望・憧れ委員会が検証を行ってそれを発表する場と考えてよろしいでしょうか。

(加 度) それで間違いないと思います。過去10年にあたって事業が指針に則ってやってきてると思いますので、そこら辺を検証してどう変わってきたか、イノベーションという言葉がワードとして入ってきてたと思いますのでどう変化してきたかを検証してもいいと思いますし、去年吉田委員長が例会でやられたように理事長をふり返ってもその時々で変化があると思いますし、そういったことをわかりやすく伝えていくのはいいことだと思います。

(小 川) 先日の新理事研修とかですとかいろんな場所でセレモニーをやって、先輩方から元気がないというお言葉を頂いております。例会とかでクリードから始まって今のままでは良くなることもないでしょうし、そこに関してこうやっていこうということがあればお聞かせください。

(加 度) まずは私が率先してやっていこうと思いますし、とりあえずは見ながらでいいと思いますので、できるだけ声をかけて頂きたいと思います。理事メンバーがまずひっぱってもらいたいですし、例会と合同委員会の月二回で少ないことも原因だと思いますので委員会でやるなど場数を増やすことだと思います。

それでは裁決をとります。

第2号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 所管業務（案）に関する件

※第2号議案 全会一致で審議可決

続きまして第3号議案 2020年度 出向者に関する件ですが高橋専務お願い致します。

(高橋建) それでは上程させて頂きます。2020年度 出向者に関する件ですが事務局に一任させて頂いてもよろしいでしょうか。また委員長の皆様は自動出向となります。それ以外に連れて行きたい委員会メンバーの方がいらっしゃいましたら後日お申し出下さい。

(加 度) それではご意見・ご質問等御座いますでしょうか。

ないようなので第3号議案 2020年度 出向者に関する件、賛成の方は挙手にてお願いします。

※第3号議案 全会一致で審議可決

14. 協議事項

15. 報告依頼事項

(高橋建) 本日はございません。

16. 連絡事項

(中 司) 室合同委員会の日時は9月25日(水) 19時から尾道ロイヤルホテルで開催させていただきます。明日案内文書を発信させていただきますので各委員長で出欠の取りまとめを行って頂きまして必ず期日までに返信をお願い致します。先日メールでお送り致しました帳票類の中に所信・事業計画を記載した書類が入っておりますのでご確認のうえ必ず締め切りまでに上程をお願い致します。次回上程締め切りは10月9日(水) 17時となっております。

17. 監事予定者講評

(川 崎) 皆さんお疲れ様でした。今日で所管業務と委員会構成図が決まりましたので先程加度理事長からもありましたし、皆さんもわかってると思うんですけどもこの時点で委員会の皆さんが決まっておりますし、できるだけ早く委員会メンバーの方に連絡して頂きたいなと思っております。今日マメな方は電話される方もいらっしゃいますし、また明日になる方もいらっしゃいますし、電話を楽しみにされている方もいらっしゃいます。中にはどこの委員会だと決まったときに委員長から連絡がないとか、そういったところから出席率の向上も深めて、皆さん出席率の向上を高めるのもひとつひとつの積み重ねですので各委員長は心構えをよろしくお願い致します。また9月25日は私の方があいにく行けなくなっているんですけども、室合同の方もできるだけみんな来て頂きたいという事もひとつ言って頂きたいと思いますし、そこに来て頂いた中に各委員長がそれぞれ事業計画や所管業務を含めてこんなスケジュールを組んでいるんだとどこまで説明できるかだと思っております。その後のアフターもどれだけ楽しめるかだと思っておりますので、この委員会での委員長とこの副委員長で一年間やってみようかなと思えるようなモチベーションがあがる委員会運営をそれぞれのカラーを出してやって頂ければと思っております。甚だ簡単では御座いますが皆さんのこれからの一年四ヶ月を祈念しまして監事講評とさせていただきます。お疲れ様でした。

(中 谷) 皆さんお疲れ様です。私の方からは本日の予定者会議で委員長の方々が活発な質問をされていて大変良かったんじゃないかなと思います。副委員長も経験されてるからこそできるような質問をされていたので、予定者会議だけでなく理事会でも続けて頂ければなど、そうすればいいものができてくるんじゃないかなと思います。初理事でこういった質問をすればわからないという人もいるとは思いますが、どんな質問をしてはいけないというルールはありませんので、話し方や言い方はよく考えないといけないですが思ったことをぜひぶつけて頂ければなど。後もう一点、質問をする時に二つ三つまとめていわれる方がいるんですが、手を上げたときは一つの質問だけにしてください。何個も言ってしまうと質問が何だったかわからなくなるので、そこだけは皆さん守って頂ければと思います。簡単では御座いますが監事講評とさせていただきます。

第2回理事予定者会議 議事録

きます。お疲れ様でした。

18. 次回開催日の確認

(高橋建) 10月25日(金) 19:00～ 尾道国際ホテルにて。

19. 閉会

20. 点鐘

第2回理事予定者会議 議事録

議 長 加 度 亮 平 印

署名人 川 崎 耕 平 印

署名人 中 谷 純 也 印

作成者 吉 田 嵩 正